**2015年　2月5日**

***皆さん、新年あけましておめでとうございます。***

**＊　めでたさも　中くらいなり　おらが春　＊**

これは200年前の正月に、57歳の小林一茶が詠んだ有名な俳句です。

世間は、正月が来ると「めでたい」「めでたい」と建前ばかり。そのころは江戸の

４大飢饉のうち、享保の大飢饉や天明の大飢饉が起こった頃で、食べるものもなくて

1万人以上の庶民がバタバタと倒れた、地獄の様な時代でした。

そういう現実を見れば、正月だと言って、ただ「めでたい」とばかり言ってはおられない

社会派の一茶らしいレジスタンスの精神がうかがわれます。

今に言いかえれば、新しい年にはなったけれどいっこうに復興の進まない福島や、

70年前の日本の敗戦を独り引きずっている沖縄の人たちのことが頭をよぎったことでしょう。

小林一茶は64歳で死去しましたが、当時の日本人の平均寿命は45歳と推測されており、

かれはそうとうな長寿でした。

57歳の時の俳句と言えば、正月が来るたびに、あと何回正月を迎えることが出来るだろうか

との思いも、俳句に込められたと言われています。

シニア会の私達も、平均年齢が今日現在で71歳になり、元気な人が多いとはいえ、

ぼつぼつこのような心境の方もおられるのではないでしょうか。

ちなみに、2014年、日本人の平均寿命は女性が**86.83**歳で3年連続世界1、男性は

大台に乗り**80.5**歳で世界3位になりました。めでたいのか、めでたくないのか

私にはわかりません。

ところで、元旦のメルマガの挨拶で幸福度にふれました。

幸福度と人とのつながりについて、国連や日本政府の内閣府により様々な研究が

行われているそうですが、一言で言いますと、どの研究の結果にも共通しているのは、

幸福度の高い人ほど友達が多く、友達の多い人ほど幸せで、寿命も伸びると

結論づけています。

今日、シニア会の総会にご出席いただいた皆様には友達も多く、幸福度はすでに

十分高いと思いますが、さらにお友達を増やし、幸福度を高めて、もっともっと人生を

楽しみませんか!

最後に、今日現在のシニア会の会員数は180名です。昨年の総会の時は、19４名でした。

会の性格上やむを得ないとはいえ少しずつ会員数が減少しております。このまま減少が

続けば、予算上の問題も出てきますし、将来的にはシニア会の存続問題につながることにも

なりかねません。どうかご出席の皆様、お友達や後輩を一人誘っていただければ、

一挙に８０人会員が増えることになり、シニア会の将来は盤石です。

たった一人で結構です。よろしくお願いいたします。

*＊日本人の平均寿命；縄文時代（31歳）　室町（33）　江戸時代（45）昭和10年（48）*

*昭和22年（52）*

*昔の平均寿命：室町や江戸時代には年寄りもたくさんいたようですが、幼児、新生児の死亡率が*

*あまりに高く、平均すると-随分と平均寿命が下がります。昭和以前の平均寿命は専門家の推測です。*